

新たな道路占用関連システムの概要

2025年6月 17日

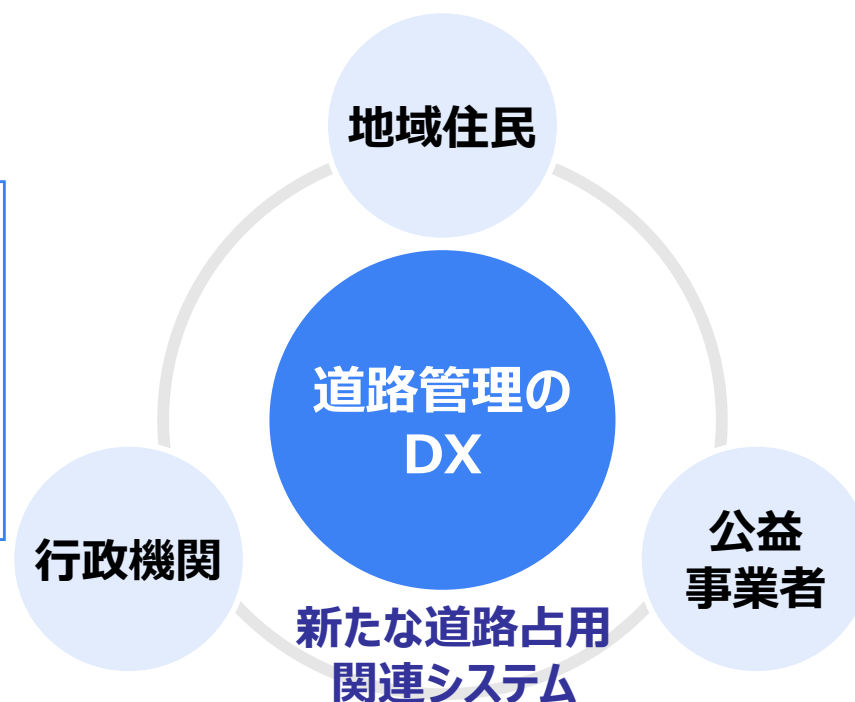
道路管理のDXを推進することで、「地域住民」「行政機関」「公益事業者」の三者の利益の実現を目指します

地域の安心・安全

- 占用工事にかかる工期短縮による渋滞の緩和や歩行者の利便性・安全性向上
- デジタル情報の一元管理により、行政機関への問合せにおける迅速な情報取得

道路管理業務の効率化

- オンライン手続きによる審査や占用料の自動計算など、業務の効率化・業務負担の軽減
- デジタル情報の一元管理による、占用物件の適切な管理
- ペーパーレス化の推進に寄与



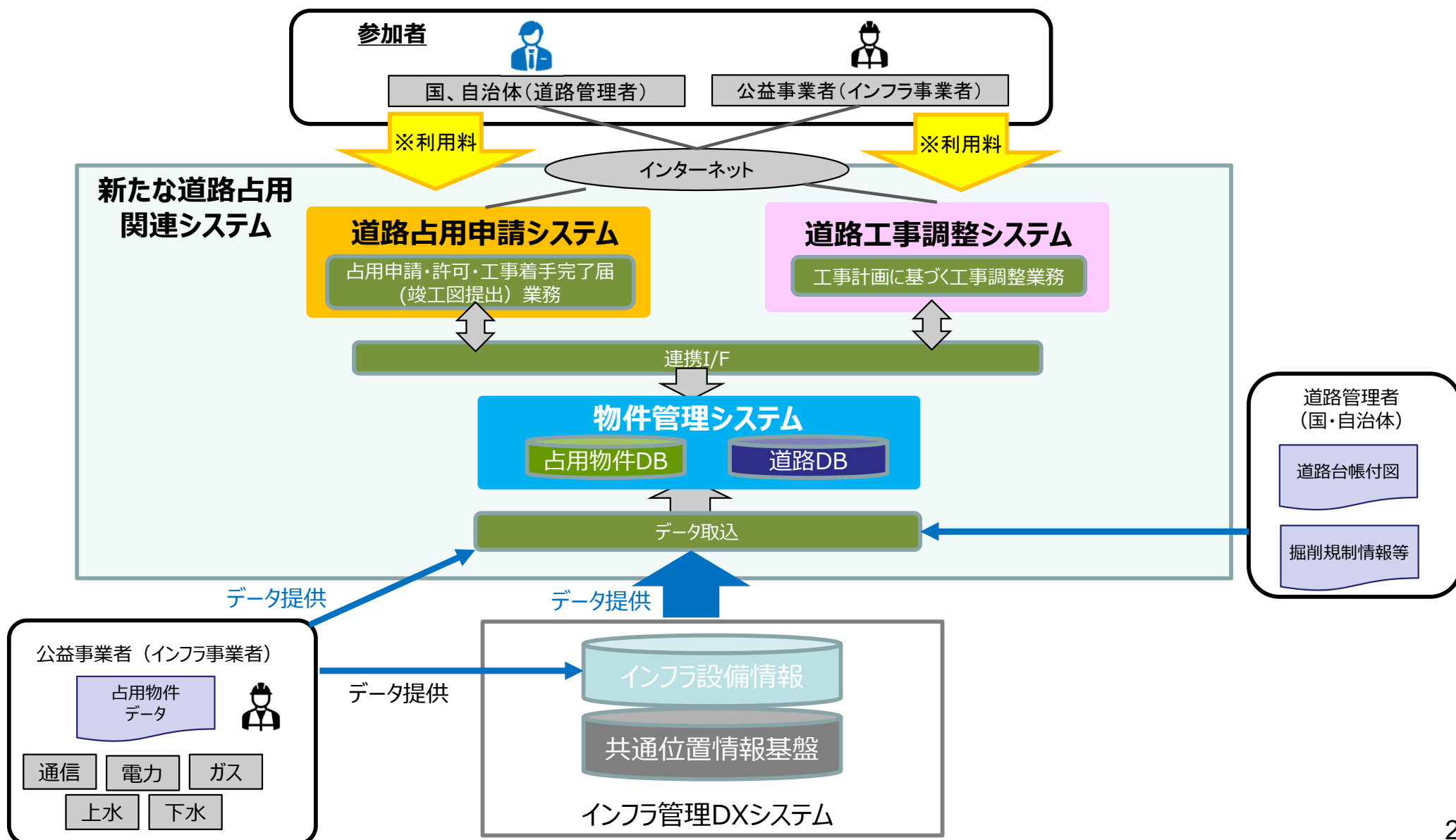
占用物件の適正な管理等の効率化

- 行政手続きのデジタル化による業務効率化・人的リソースの節約
- 公益事業者間の情報共有や共同施工推進による工期短縮・事故リスク低減
- 維持管理業務の相互協力など、更なる運用コスト削減への対応

災害時の早期復旧に向けた取組強化

- デジタル情報の一元管理による、災害時の損傷状況や復旧情報の適切な共有
- 災害時の道路及びライフラインの早期復旧に向けた迅速な計画策定

- ・新たな道路占用関連システムは、業務アプリケーションである「道路占用申請システム」「道路工事調整システム」と、情報管理データベースである「物件管理システム」で構成
- ・全国統一型のクラウドシステムとすることで、共同利用によるシステム利用者の費用負担を軽減



- 道路占用申請システムは、道路占用許可に関わる事務を電子的に行うシステム
- 本システムは以下の特徴を持ち、当該事務の円滑な運用をサポートし、迅速化や省力化を図ることが可能

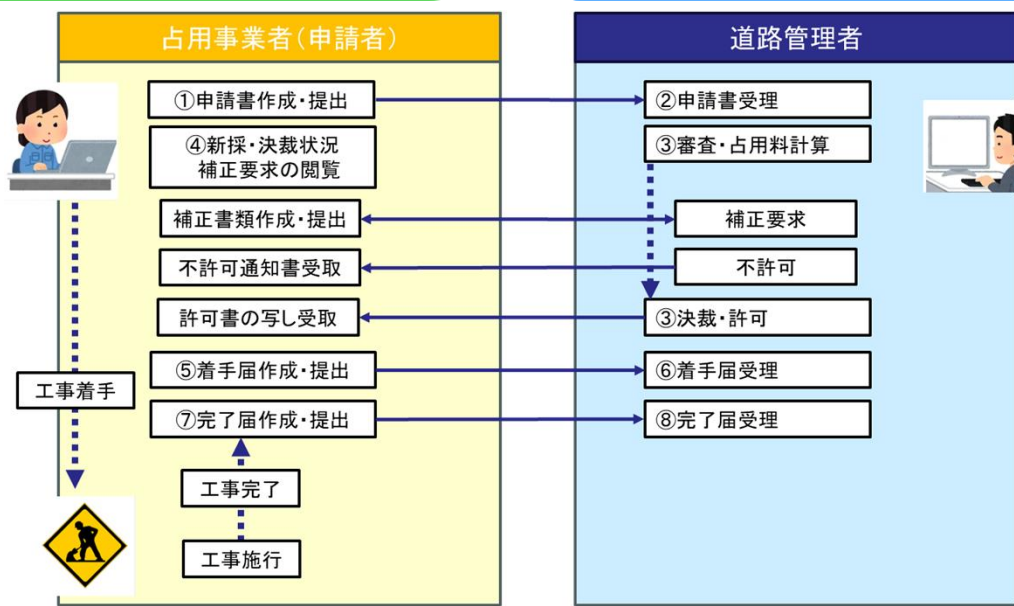
1. 道路占用許可の申請等手続きをインターネット経由で実施
2. 申請や許可情報を元にした占用物件台帳の管理及び道路占用料の自動計算
3. 工事箇所地図上での管理

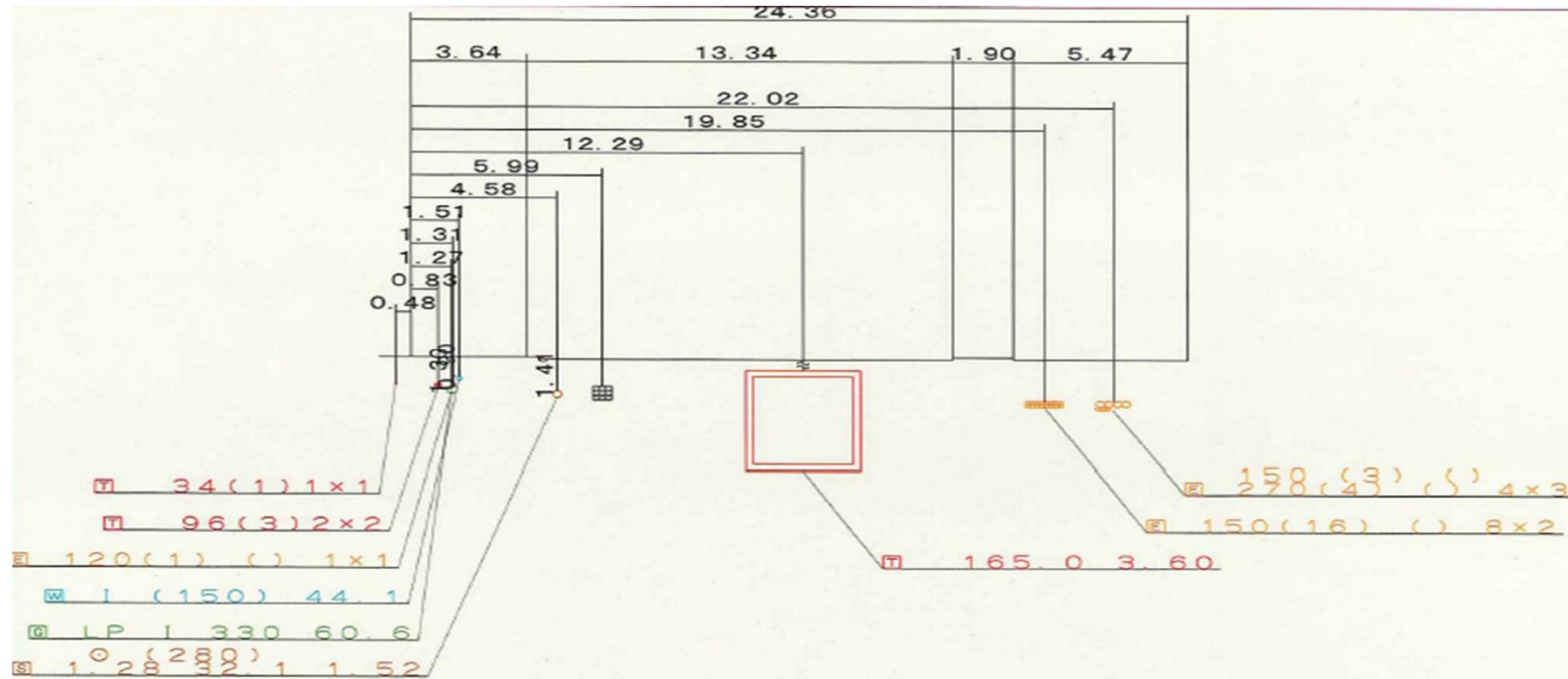
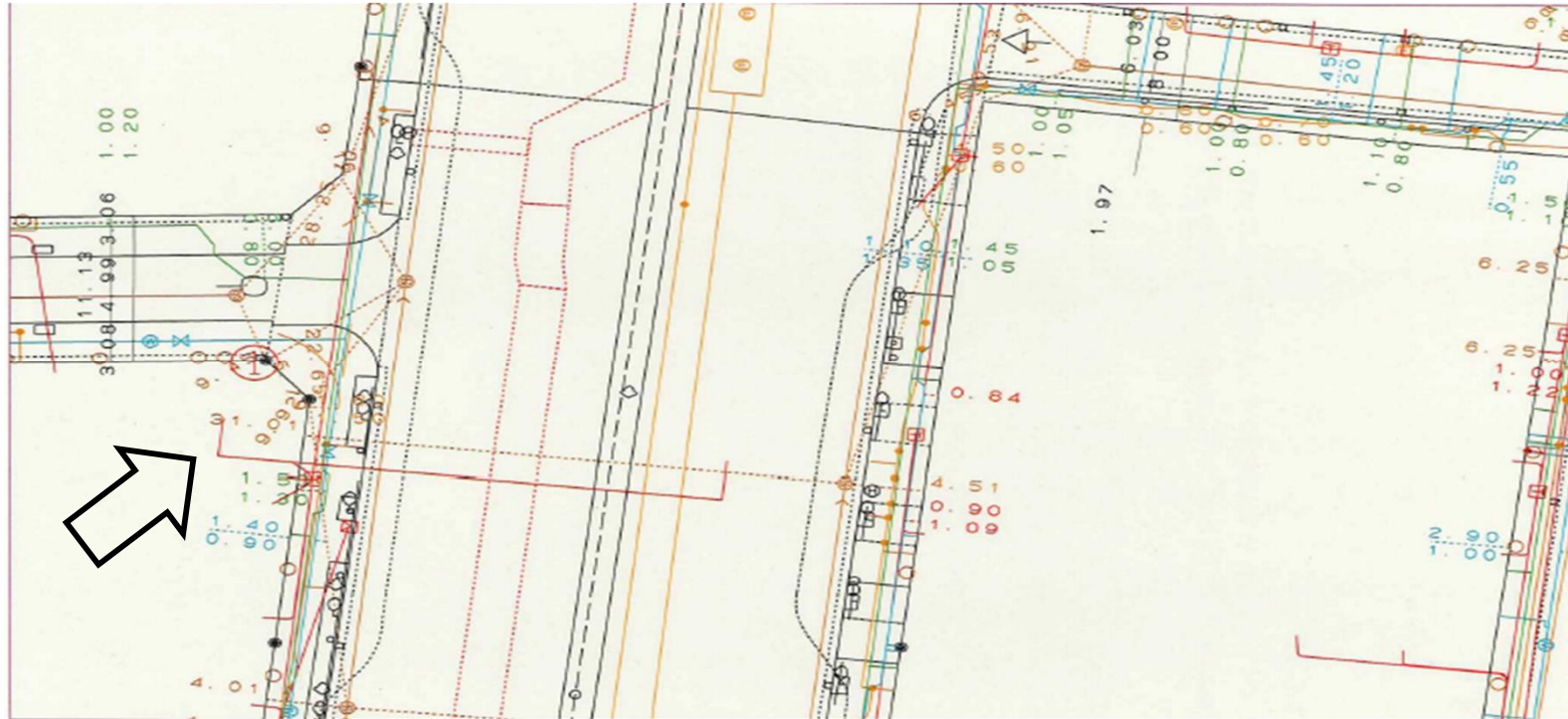
<申請者側の主な機能>

1. 申請・届出手続き
 - ①申請書・届出書の作成及びオンライン申請
 - ②道路管理者からの補正指示回答や申請取下げ
 - ③申請～許可、着手完了までの業務の一貫した進捗管理
 - ④道路管理者の審査状況参照
 - ⑤各種帳票作成・CSV出力
2. 占用物件台帳管理
コード入力された占用物件情報を基に、既存物件と新規物件による増減を加味した全体の占用物件数量等を一覧表で管理
3. 工事箇所図参照
申請時に入力された工事箇所図より工事情報が参照可能。

<道路管理者側の主な機能>

1. 申請・届出手続き
 - ①階層構造の組織に対応した起案～許可等の手続き
 - ②紙提出された申請書・届出書の内容の入力
 - ③道路占用料の自動計算
 - ④申請～許可、着手完了までの業務の一貫した進捗管理
 - ⑤各種帳票作成、PDF・CSV（※）ファイル出力
2. 年間数量・占用料管理
申請された占用物件数量の占用物件台帳への自動計算及び年間占用料の自動計算。
3. 工事箇所図参照
各種問合せ等において、工事状態（着手前後、施工中）、工事期間、占用期間、占用者名等で絞り込み、迅速な情報把握が可能。





1. 道路占用申請システム（オンライン申請機能）の導入による主な効果について

（1）道路管理者における導入効果

- ① 占用料の自動計算（許可単位/継続占用料）による算定処理の省力化
- ② 台帳数量のシステム管理による統計・集計稼働の削減
- ③ 申請内容の不備時の補正指示のオンラインでの実施
- ④ 処理ステータスの見える化による抜け漏れ防止、管理コストの削減
- ⑤ 許可箇所見える化による住民からの問い合わせへの調査稼働の削減
- ⑥ 占用料徴収システムへの占用料額連携による事務の省力化（オプション）

（2）申請者における導入効果

- ① オンライン申請による事務所来訪負担の軽減（事前協議時、申請時、着手・完了届提出時）
- ② 台帳数量のシステム管理による集計稼働や継続占用料額算定作業の削減
- ③ 処理ステータスの見える化による抜け漏れ防止、管理コストの削減
- ④ 既設管路の参照による工事影響の事前把握
- ⑤ 民間地図サービス利用による申請場所の住所（地番）の簡易入力
- ⑥ 路線図整備による路線名の簡易入力
- ⑦ 申請書類の統一化

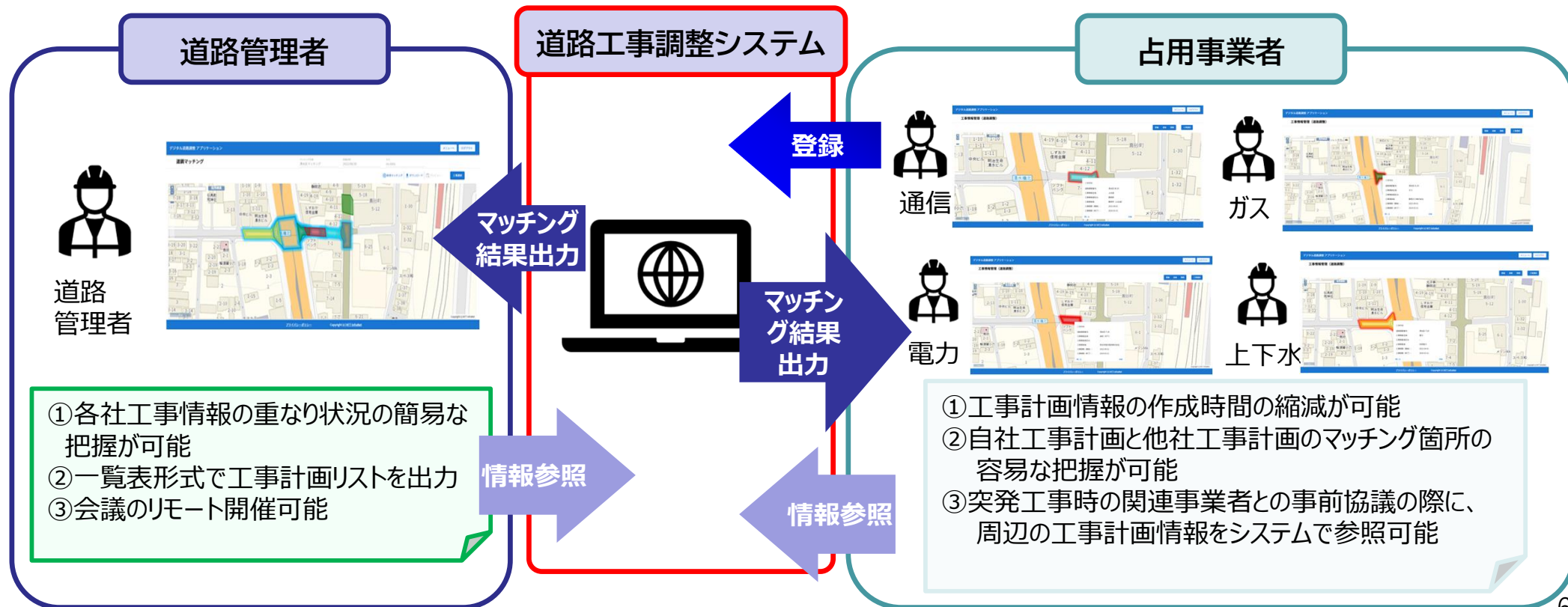
道路工事調整システムで出来ること（道路管理者）

- ①各占用事業者が投入した全ての工事計画情報からマッチング(※)箇所を抽出でき、**工事調整箇所を明瞭に把握**
- ②**工事計画情報をシステムから一覧形式で出力**する事が出来るため、各社の工事計画リストの作成が容易
- ③本システムとWEB会議ツールを併用する事で**道路工事調整会議のリモート開催が可能**

※マッチング：複数占用事業者の工事が重複している状況

道路工事調整システムで出来ること（占用事業者）

- ①工事計画情報をWEBの地図上に作成し、作成した図形上に工事関連情報の投入が可能
- ②各占用事業者が投入した工事計画情報と他社工事計画情報のマッチング処理が可能になり、**場所や施工時期等が近い工事をシステム内で抽出**が可能（自社工事計画情報と他社工事計画情報が重なる部分）
- ③突発工事についても、関連事業者との事前協議の際に、周辺の工事計画情報をシステムで参照可能



＜参考＞画面イメージ

■ 工事概要・工事場所投入画面

工事範囲は住所検索ほか、拡大縮小スクロールでおおよその場所を特定後、左クリックで頂点を打ち、工事範囲を囲むように図形を作図（最大25頂点まで可能）

■ 工事マッチングのイメージ



マッチング結果



2. 道路工事調整システムの導入による主な効果について

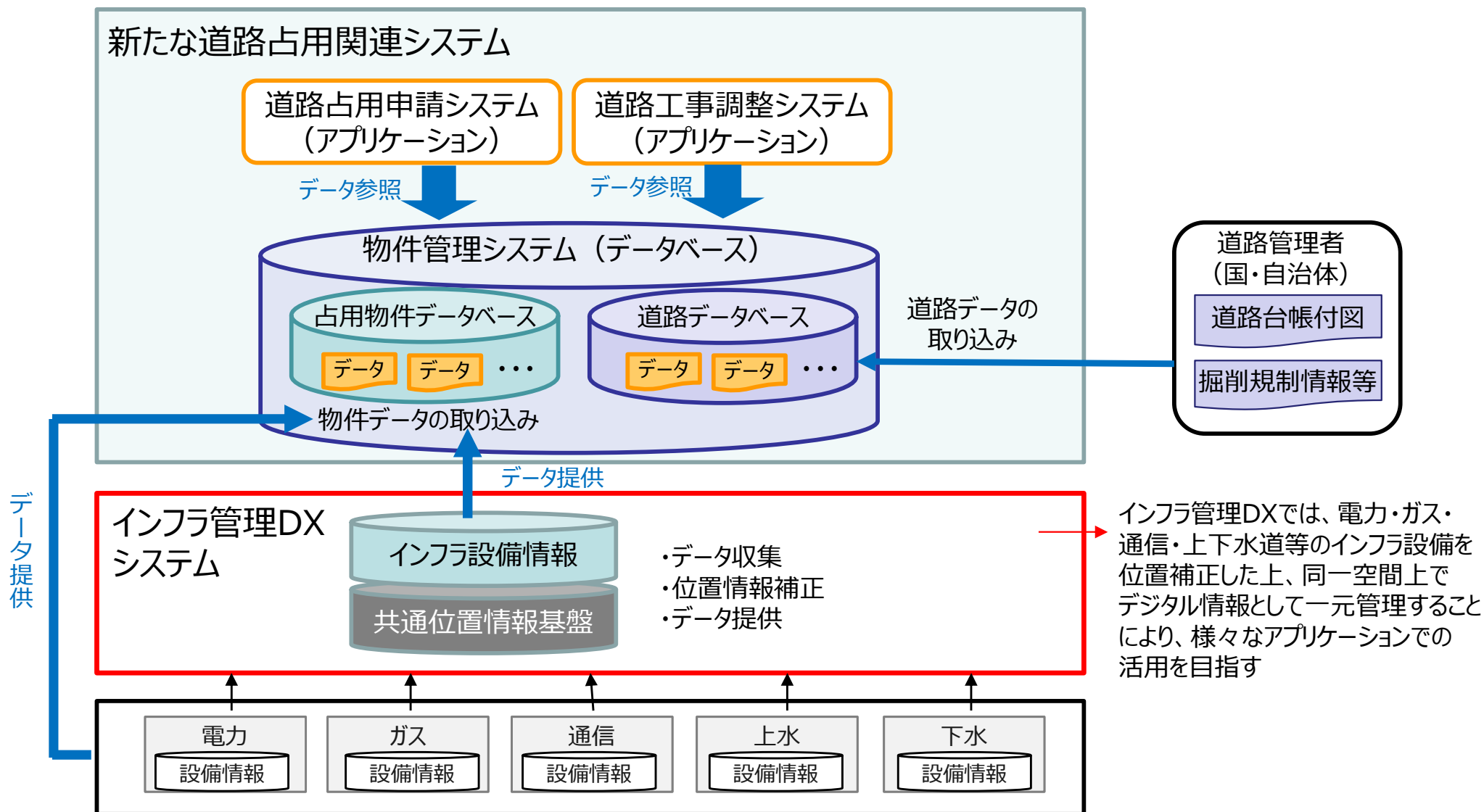
(1) 道路管理者における導入効果

- ①道路工事調整会議資料の準備（図面記入状況の確認、集計資料の作成、印刷）の削減
- ②オンラインでの会議実施による紙の削減
- ③競合箇所（場所が重なる工事）の自動判定と、調整対象者の明確化
- ④システム管理による道調対象工事の抜け漏れ防止、調整対象工事の明確化
- ⑤工事計画変更時の、影響範囲（競合箇所）の早期把握
- ⑥道路補修、改修工事計画時における競合工事の事前把握

(2) 申請者における導入効果

- ①オンラインでの会議実施による来訪コストの削減
- ②競合箇所（場所が重なる工事）の自動判定と、調整対象者の明確化
- ③システム管理による道調対象工事の抜け漏れ防止、調整対象工事の明確化
- ④工事計画変更時の、影響範囲（競合箇所）の早期把握
- ⑤道路工事調整会議資料の準備（印刷）の削減
- ⑥工事計画時における競合工事の事前把握

- ・道路占用申請システム及び道路工事調整システムは、物件管理システムのデータを参照
- ・各道路管理者で管理されている道路台帳附図・掘削規制図等のデータは物件管理システムへ取り込み
- ・公益事業者の設備情報はインフラ管理DX(経済産業省施策)で位置補正し物件管理システムへデータ提供



3. 物件管理システムの導入による主な効果について

(1) 道路管理者における導入効果

- ①各公益事業者の埋設物件を一つのベースマップで把握が可能となるため、占用物件の把握が容易
- ②埋設物件の位置情報が把握できるため、道路工事の影響範囲の事前把握が可能となり、設計作業の迅速化・効率化や道路工事時の損傷事故の防止が可能
- ③災害時に埋設物の位置情報が迅速に把握できるため、ライフラインの早期復旧による道路交通への影響の縮小が可能
- ④埋設物件の損傷等を起因とする道路陥没等の早期の原因把握が可能

(2) 申請者における導入効果

- ①各占用事業者の埋設物件を一つのベースマップで把握が可能となるため、他の埋設物件の所有者や位置情報の把握が容易
- ②埋設物件の位置情報が把握できるため、開削工事の影響範囲の事前把握が可能となり、設計作業の迅速化・効率化や開削工事時の損傷事故の防止
- ③災害時に埋設物の位置情報が迅速に把握できるため、ライフラインの早期復旧が可能
- ④埋設物件の損傷等を起因とする道路陥没等の早期の原因把握が可能

新たな道路占用関連システムは、道路占用工事業務全体における工事計画に基づく**工事調整業務**及び**占用申請・許可・工事着手完了届(竣工図提出)業務**が対象範囲

工程		占用工事							維持管理	
業務		工事調整	占用事前協議	占用申請	占用許可	占用工事	本復旧工事	完了届提出	占用物管理	災害復旧
計画 工事		道路工事調整 システム	道路工事調整 システム(参照)	道路占用申請システム						
		物件管理システム								
突発 工事			道路工事調整 システム(参照)	道路占用申請システム						
		物件管理システム								
システム導入により実現できる業務	道路管理者	●オンライン道調会議 ●競合工事の自動抽出 ●各占用事業者工事の同一地図上での把握 ●各占用事業者工事計画一覧表出力	●各占用事業者工事の同一地図上での把握	●申請受理、補正指示、許可、 占用料計算※	●着手届受理・確認	●完了届受理・確認 ●復旧情報の確認			●継続占用料計算※ ●最新許可占用物件一覧表出力 ●占用期間満了通知	●埋設物の早期把握 ●復旧指示
				●申請-許可-竣工の進捗管理一覧出力 ●工事箇所・占用物件の地図上での表示 ●工事状態（着手前、施工中、竣工）、工事期間等による工事箇所の把握 ●工事施工会社の把握						
	占用事業者 上水 下水 電力 通信 ガス	●オンライン道調会議 ●自社関連競合工事の自動抽出 ●任意のタイミングでの工事調整 ●各占用事業者工事の同一地図上での把握	●各占用事業者工事の同一地図上での把握	●電子申請・届出 ●補正回答、申請取下 ●工事箇所図の作成 ●許可書出力	●着手届 ●変更申請 ●その他届出（廃止、簡易な変更、試掘、緊急工事、工期延期等）	●完了届 ●竣工図書の添付			●最新許可占用物件一覧表出力 ●更新申請	●埋設物の早期把握 ●事業者間の早期調整
				●審査状況一覧出力 ●工事箇所・占用物件の地図上での表示 ●工事状態（着手前、施工中、竣工）、工事期間等による工事箇所の把握						

※：占用料の請求入金管理のオンライン化については別途個別対応